

流行感染症対策マニュアル 統合版

日付: 2020 年 9 月 1 日

件名: A～E

A. 流行感染症に対し、『濃厚接触者』とならないための標準予防策

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症患者(疑い含む)と数分以上の濃厚接触*をせざるえない場合の対応

PPE	曝露リスク	就業制限
シールド(またはゴーグル) +マスク +キャップ+ガウン+手袋	低リスク	なし

患者にもサージカルマスクを着用させる(現時点の対応で、今後マスクの在庫が少量の場合は持参のマスクで可)
静脈麻酔時はマスクを外して患者の呼吸状態を確認する

濃厚接触の定義: 発病した日から 2 日前で、1m 以内かつ 15 分以上の接触。または患者の分泌物・排泄物に触れる

図 1 個人防護具の種類と着脱手順例
【通常の場面】

着用

ポイント①
シールドマスク
→ キャップ
の順に着ける

ポイント②
手袋でガウンの袖を覆う

脱衣

①ガウンと手袋は一緒に、裏返しながら脱ぐ。

②手指衛生

③キャップ・シールドマスクの順に、顔に触れないように外す。④手指衛生

- ・脱衣方法をよく理解しておく事。患者に触れる処置があった時はディスポーザブルガウンはその都度破棄(現時点での対応で、今後物品在庫状況による)
- ・帽子は後ろから外す
- ・手袋をつけたまま、別部屋へ移動しない
- ・マスクは首もとに下げてしまった後、口元へ戻さない

A.1.健診の下肢浮腫評価

下肢浮腫評価後はアルコールによる手指消毒。適切評価を(Bobak M: Maternity & Gynecologic care, Mosby, 1989)

Grade	Depth	Rebound time
1	2 millimeter (mm) depression, or barely visible	immediate
2	3-4 mm depression, or a slight indentation	15 seconds or less
3	5-6 mm depression	10-30 seconds
4	8 mm depression, or a very deep indentation	more than 20 seconds

浮腫(+/-): 圧痕は不明瞭だが、触診にて凹みを触知できる(櫛引美代子: カラー写真で学ぶ妊産褥婦のケア, 2001)

A.2.換気について

換気スイッチは常に**オン**にしておく

今後ロスナイ(熱交換形換気機器)の強化にて換気能力を高める

食堂付近、ロッカー・休憩場所についてはスタッフ同士でいわゆる”3 密”の状態になりやすいので、使用時は可能な限り窓やドアの開放を行う

室名	床面積 (㎡)	天井高さ (m)	換気量 (㎡/h)	1 時間当りの 換気回数
キッズルーム・親子室	45	2.5	500	4.4
5 診	7.6	2.5	110	5.8
授乳室	7.4	2.5	150	8.1
R室	14.1	2.5	150	4.3
診察室・従業員通路	102	2.5	800	3.1
LR室	17.8	2.5	250	5.6
OPE室	19.3	2.5	110	2.3
D室	11	2.5	110	4.0
授乳・沐浴コーナー	14.8	2.5	150	4.1
ナースステーション	28.1	2.5	350	5.0
各個室	13.3	2.7	150	4.2
2 階ラウンジ	54.4	2.5	800	5.9

左表の通り、授乳室の換気能力が高い。今後インフルエンザ迅速検査を行う際は診療時間と考慮しながら授乳室を用いる(C.2.参照)

参考文献;

医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド 第 3 版



Use Personal Protective Equipment(PPE), CDC から



A.3.スタッフの出勤基準

『感染症予防のための院内立ち入り許可に関する問診票』を参考にする。具合が悪い場合や家族に発熱がある場合などは上司に申し出る事

感染症予防のための院内立ち入り許可に関する問診票

- ・感冒症状あり、患者が診察希望の場合
- ・感冒症状あり、または家族に同様症状あり、院内勤務可能か心配な場合
- ・当院スタッフ以外で院内へ立ち入る場合

令和 年 月 日

対象氏名 _____

以下項目は新型コロナウイルス感染症県民サポートセンターへ問い合わせの基準に準ずる	
72 時間以内に 37.5℃以上の発熱がある	☐ いいえ ☐ はい
咳がある（喘息の悪化も含む）	☐ いいえ ☐ はい
だるさや息苦しさがある	☐ いいえ ☐ はい
2 週間以内に渡航歴がある	☐ いいえ ☐ はい
2 週間以内にバー・ナイトクラブ・カラオケ・ライブハウス・ジムを利用した	☐ いいえ ☐ はい
2 週間以内に 10 人以上集まるイベントまたは密閉空間で、人が密集・密接した会合・会議・会食に参加した	☐ いいえ ☐ はい
同居者に発熱あるいは咳のある人がいる	☐ いいえ ☐ はい

『はい』を含む場合、院内勤務医師または院長に確認し、院内立ち入りについて許可を得ること



医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド 第3版

なおスタッフ以外の業者の院内立ち入りについても上記問診表を求める。可能ならオンラインミーティングを活用する事

A.4.助産学生実習について

健康観察チェックリストを用いて実習許可を与える

A.5.産婦人科診療における標準感染予防策(Standard precautions for OBGYN)

患者に触れる処置の際には通常のマスク着用の他、手袋とゴーグル(か眼鏡)を着用する

A.6.衛生物品在庫管理

今後『不安を抱える妊婦へ分娩前ウイルス検査業務委託』(C.1.)に伴い、(K)N-95 マスクを切らさないようにする
週明けの発注表に加え、分娩および帝王切開関連の物品においては通常の Disposable 用品以外に洗浄消毒もしくは滅菌が可能な以下用品を揃えておく事；

- ・ガウン
- ・帽子
- ・マスク: マスクについては個人でも布マスクなど準備をお願いする

A.7.防災時

流行感染症に関わらず、当院の災害対策マニュアルを優先する

B. 消毒

表6 消毒薬の抗微生物スペクトラムと適用対象

消毒薬		微生物	細菌				真菌	ウイルス						適用対象				環境	排泄物	
			グラム陽性菌		グラム陰性菌		結核菌	酵母菌	糸状菌	エンベロープ有	エンベロープ無	HBV	HCV・HIV	ライノウイルス	人体		器具			
			一般細菌	MRSA	芽胞	緑膿菌									手指・皮膚	粘膜	金属			非金属
高水準	グルタラール (アルデヒド類)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				●	●		
水	フタラール (アルデヒド類)	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○				●	●		
準	過酢酸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				▲	▲		
中	消毒用エタノール (アルコール類)	○	○	×	○	○	○	△	○	○	△	○	×	●			●	▲	▲	
水	次亜塩素酸ナトリウム (塩素化合物)	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	▲				●	●	●
準	ポビドンヨード (ヨウ素化合物)	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	△	●	●					
低	ベンゼトニウム塩酸塩 (陽イオン界面活性剤)	○	△	×	○	△	×	○	△	×	△	×	×	×	×	●	●	●	●	▲
	ベンザルコニウム塩酸塩 (陽イオン界面活性剤)	○	△	×	○	△	×	○	△	×	△	×	×	×	×	●	●	●	●	▲
水	クロルヘキシジングル コン酸塩	○	△	×	○	△	×	○	△	×	△	×	×	×	×	●		●	●	▲
準	(ピグアナイド系薬剤)																			
	アルキルジアミノエチル グリシン塩酸塩	○	△	×	○	△	○	△	×	△	×	×	×	×	×	▲	▲	●	●	●
	(両性界面活性剤)																			▲

○：有効 △：効果弱い ×：無効 —：効果を確認した報告がない
●：使用 ▲：限られた場合のみ使用

・ベビー体重計、インファントウオーマー、コット→スキットクロス(両性界面活性剤：ベンザルコニウム、塩化アルキルジメチルアンモニウム)、
感染対策時はアルコール綿(エタノール) * プラスチック劣化注意
・体温計先、聴診器→アルコール綿
なおD室内の体温計、聴診器、血圧計は発熱患者対応用
・医療機器→スキットクロスかセーフキープ(ベンザルコニウム)、
血液体液汚染時はアルコール綿でも拭く
コードをできるだけ床に垂らさない
・人工皮革のベッドなど、患者が身を置く物→0.02~0.1%次亜塩素酸ナトリウム * 金属腐食性と漂白作用に注意、
金属部分はスキットクロスかセーフキープかアルコール綿
待合スペースの拭き取りも忘れないように
・ワゴン→スキットクロスかセーフキープ、
感染対策時はアルコール綿
・壁→汚染部分は0.1~0.5%次亜塩素酸ナトリウム
・床→汚染部分は1%次亜塩素酸ナトリウム
・ステンレス器具→マスキング液(クロルヘキシジン) + 高圧蒸気滅菌
・汚染されたモップ→0.5%次亜塩素酸ナトリウムに30分浸漬
・妊婦携帯電話→ご自身でスキットクロスで拭いてもらう

・新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス、単純ヘルペスウイルスはエンベロープ有

・次亜塩素酸ナトリウム水溶液は1日で使いきる事

*『次亜塩素酸ナトリウム水溶液』と『次亜塩素酸水』は異なる

・0.05%次亜塩素酸ナトリウム(ミルトン 10mL/水 190mL)水溶液は噴霧可とする。清掃スタッフはPPE着用

B.1.診療区域の各設置備品の拭き取りや対応について

・少なくとも1時間に1回は拭き取りをお願いする

・内診台(D室含む): ロールシートは1枚余分に垂らして皮革への体液付着を減らす

脚台(足台)はできるだけ清潔に

・共用するハードウェアや物は常に清潔にする(外来だけでなく全区域);

キーボード、マウス、電話、複合機、ドアノブ、スイッチ

内診台のカーテンはこまめにかえる

・ゾーニングを意識する事。例えば、手術準備室に置いてある衛生物品は汚染されないように

* 汚染部分があれば、拭き取り全員で院内の衛生環境を整える

B.2.アロマ部門

事業者ガイドラインに則った対策を行う;

東京都感染拡大防止ガイドブック-商業施設-エステティックサロン・ネイルサロン編



ユニバーサルマスクの有用性:スタッフも褥婦もマスク着用することで COVID-19 に対する感染予防はかなり高い



(埼玉県医師会主催 感染症対策研修会スライドから)

C. 検体採取(外来)

C.1 不安を抱える妊婦へ分娩前 COVID-19 ウイルス検査業務委託契約について

対象: 37 週妊婦

- ① 周知について: 34 週助産師外来で県が発行するリーフレット(裏表あり)と当院リーフレットをベースに周知を行う。

「行ったほうがよいですか」との質問に関しては、スタッフ個人で介入もしくは詳細を説明はせず、まずはリーフレットを通読してもらい、35/36 週の健診で医師が対応する

* 委託料の請求: 埼玉県健康長寿課 母子保健担当

- ② 35/36 週の健診で検査の希望の有無を伺い、希望があればスタッフが検体提出時の来院予約を行う

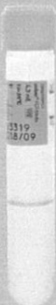
- ② 検体受け取り日時: 火/金の 16:00~17:00(『検査・処置』枠で約 5 人/時間)に一括で行う

- ③ 検体受け取り: 外来スタッフが個々に対応

検体の梱包は外来スタッフにお願いする

* 検体部位は唾液を採用した(詳細は以下図)

PCR が陽性なら保健所を介して搬送調整となる。なお自宅安静となる可能性もあり、その後の対応は E.参照

採取容器（専用容器）	
SARS-CoV-2核酸同定用容器 （ぬぐい液・唾液）	
	
添 加 剤	塩酸グアニジン
保 管 方 法	常温
有 効 期 間	容器表示

● 唾液検体の採取手順

1. 検体採取10分前の飲食、うがい、歯磨き、ガムを噛むことなどは避けてください。
2. 2分程度、口に唾液を溜め、滅菌容器の中に垂らすように静かに吐き出してください。
採取量は2mL程度で、1回で採取できない場合、繰り返してください。

【以下の作業は必ず医療従事者の方が行ってください】

3. 滅菌容器からスポイトを用いて、左図専用容器に速やかに1.5mL程度移注してください。
4. しっかり蓋を閉め、10回程度強く混ぜてください。
5. 氏名ラベルを貼付してください。
6. 冷蔵でご提出ください。
冷蔵での安定性は5日間です。（凍結不可）
7. 三重梱包にしてください。
8. 依頼書は三重梱包の中に入れず、弊社担当員に渡してください。

・結果説明:オンラインとする

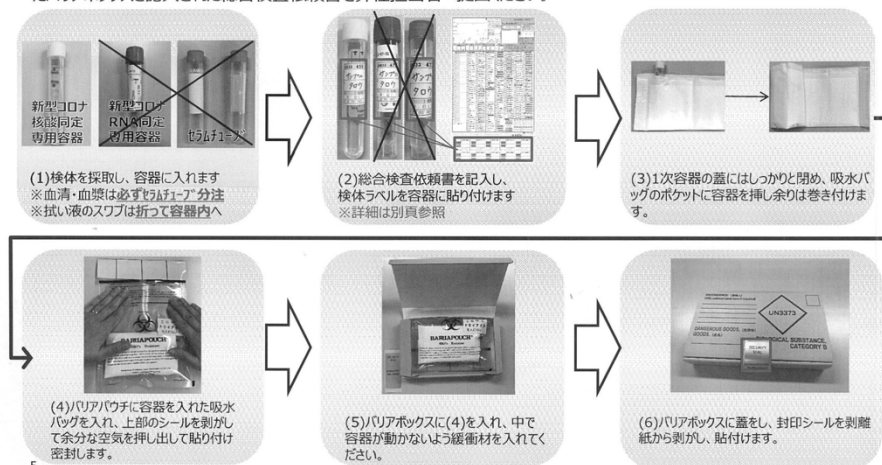
なおそれまでに陣痛発来があればまずは通常の対応とするが、発熱など COVID-19 疑似症があれば保健所へ連絡し、搬送調整の依頼を行う(E.参照)

・検体提出は3重梱包(詳細は以下図)



弊社へのご提出の流れ(提出当日)

検体の受領に関しては、弊社担当者は照合は行わず、総合検査依頼書と3次容器をお預かり致します。封印シールの貼られたバリアボックスと記入された総合検査依頼書を弊社担当者へ提出ください。



C.2.インフルエンザウイルス

・インフルエンザウイルスの検体採取は今後時間を取り決める。採取時間として以下

8:20～8:40 頃まで

12:30～12:50 頃まで

17:30～17:50 頃まで

とし、ドライブスルー方式(院外)対応、天候等で院外対応が難しい場合は授乳室を使用(A.2.参照)する。

- ・インフルエンザの検体採取は PPE(A.参照)着用在望ましい
- ・夜間は原則採取せず、インフルエンザが疑わしければそのまま処方可とする
- 夜間対応に困った場合はふじみ野救急クリニック等を紹介する

D. 外来および入院の院内立ち入りについて

『COVID-19 流行レベルの定義の目安(以下表)』等を参考にしながら、外来および入院の立ち入りを判断する。患者らへの周知はホームページと院内掲示にて行う

表 2 COVID19 流行レベルの定義の目安*

Level	当該医療機関がカバーする医療圏	隣接する医療圏	都道府県全体
1	14 日以内の COVID-19 発生例なし。	14 日以内の COVID-19 発生例なし。	14 日以内の COVID-19 発生例なし。
2	14 日以内の COVID-19 発生例なし。	14 日以内に感染経路が特定できている COVID-19 発生例がある。 (クラスター事例含む)	● 14 日以内に感染経路が特定できている COVID-19 発生例がある。 ● 14 日以内に限られた地域にのみ、感染経路が不明なクラスターが発生している。
3	14 日以内に感染経路が特定できている COVID-19 発生例がある。	14 日以内に感染経路が不明の COVID-19 発生例がある。 (クラスター事例含む)	14 日以内に(地理的に交流の程度が低い)複数の地域で、それぞれ感染経路不明のクラスターが発生している。
4	14 日以内に感染経路が不明の COVID-19 発生例がある。 (クラスター事例含む)	14 日以内に感染経路が不明の COVID-19 クラスターが複数発生している。	14 日以内に、すべての地域において、感染経路不明のクラスターが発生している。

*表 2、表 3 については、レベル分類と対応についての事例として挙げた。実際には、都道府県でのリスクアセスメントも参考にすること。

*医療圏：各地域で定義する。各医療圏内でさらに医療圏を細分化するかどうかは各医療機関の判断に委ねる。

*「当該医療機関がカバーする医療圏」、「隣接する医療圏」、「都道府県内全体」のいずれかの COVID-19 流行状況が当てはまる時、当該レベルにあると判断する。

D.1.予約について

“フィジカルディスタンス”をキープするため、一般予約は通常 4 枠/30 分を厳守する
37.5℃以上の方の来院は原則お断りする。同日診療の必要がある場合は『感染症予防のための院内立ち入り許可に関する問診票』をチェックし担当医師と相談する

D.2.夫(またはパートナー)の立ち合い・立ち入りについて

- ・流行感染症時、分娩後 15 分程度の面会を許可する
- * 分娩第 1 期や帝王切開時が常時付き添えないからといって、分娩当日に仕事に行かれる事は、**緊急対応が困難となる**のでできるだけ避けていただく。
- 出産後 2 時間までの LDR 室での面会もしくは帝王切開術後着替え室での面会を想定している。緊急帝王切開時は術後、保育器を玄関内へ移動させての面会は可
- ・発熱などを認め、流行感染症が疑われる妊婦の分娩の際は夫の院内立ち入りは不可。急変や搬送に備え、車内などで院外待機してもらう(E.1 参照)
- ・産科危機的出血等で輸血投与、搬送の可能性がある LDR 室か手術室で一括管理ができる場合は 15 分以上の付き添いを認める
- ・外来で夫が状況説明を求めた時には、担当医師の判断で診察室の入室を許可する。以下想定時として;
入院当日、手術前説明時、流産前後(可能性、異常妊娠も含む)、通訳が必要な場合

・『感染症の院内伝搬予防のための問診票』を記入してもらい、院内感染伝搬防止についてご自覚いただき協力していただく。外来を含め、発熱や体調が優れない場合はいかなる場合も院内の立ち入りは許可しない


感染症の院内伝搬予防のための問診票
(夫またはパートナーの立ち合い)

当日の立ち合い状況は院内掲示もしくはホームページをご確認し、ご理解をお願いします。
体調が悪い時や心配な事があれば必ず申告をお願いします。その場合は立ち合いを許可しません。
LDR もしくは手術室内ではマスクの着用を必ずお願いします。

入室前検温 _____℃ * 37.5 度未満かつ下記同意と署名にて入室許可

私は体調に異常を認めません。

令和 年 月 日

氏名（署名） _____

D.3.外来患者対応

予定の妊婦健診および婦人科患者について、発熱ある場合は原則来院させない。まずは県民サポートセンターに連絡してもらい、センター担当者からの指示を仰ぐ。



当院で診察が必要な場合は『感染症予防のための院内立ち入り許可に関する問診票』にて電話でチェックし、当院担当医師に許可を得てから D 室での診察とする。必要あれば PPE 着用を

D.4.外来付き添い許可

- ・発熱以外で体調が優れない患者の付き添い
- ・通訳が必要な場合
- ・術前や病状説明が必要な場合
- ・未成年患者
- ・上の子を預けられない場合。小学生以上はマスク着用

県民サポートセンター(24 時間対応) 0570-783-770

D.5.乳腺炎患者について

- ・外来診療時間外または夜間の乳腺炎対応は、緊急性がない場合はお断りする
- どうしても一時的にコロナール等を院内処方したい場合は入院玄関前でお渡しする
- ・電話にて明らかな乳腺関連症状あり、気道および消化器症状がなければ院内医師に許可を得て親子室等で担当助産師が対応する

E.新型コロナウイルス感染症を疑った患者の分娩対応

E.1.にしじまクリニック COVID-19 実践対応マニュアル

当院で管理する事態は発熱や感冒悪化に加え

- ・陣痛発来もしくは疑い、破水時
 - ・出血や胎動減少など緊急性を要する時
- ① D 室での診察なしに LDR へ直接入室する
患者にサージカルマスクを着用させる
LDR が 2 室とも使用している場合は、3 人の中で急速墜娩の可能性がある患者を手術室へ入室させる
夫は車内等で院外待機とする
 - ② 『感染症予防のための院内立ち入り許可に関する問診票』をもとに、患者の COVID-19 リスクを把握する
 - ③ CRP を含めた術前採血を行う
 - ④ 採血結果、CTG、内診やエコーなどから急速墜娩の必要がない場合は母体搬送を考慮する

急速墜娩の必要がある場合は院長と師長を呼び、分娩準備を行う(吸引・鉗子分娩か帝王切開)。
入室するスタッフは帽子、フェイスシールドとゴーグル、サージカルマスク、ガウン(エプロン不可)、手袋を行う。体液が付着した場合は分娩後シャワーを浴びる。手袋は別室へ移動する前にその場で捨てる。マスクとフェイスシールドを外す際は表面を触れないように行う
なお防護具をうまく外せず体液が付着した場合は申し出ること

- ⑤ 娩出した児は新生児搬送するので準備を行う。なお保育器は陽圧にしない
新生児搬送の受け入れが困難な場合は 101 号室を管理室とする。なお術後母体管理も同室とする
101 号室は今後 HEPA フィルターを設置し陰圧対応にする。CTG も部屋からセントラルへのリンク化を行う
102 号室との間に衝立を置き、他患者の導線をブロックする。その際沐浴指導はナースステーションで個別対応する
患者に触れない入室であれば、ガウンはスタンドにかけ再利用可。名前を記入しておく事
衝立対応の際は入院褥婦は LDR 側から D 室診察やシャワー室へ移動してもらう
分娩室も含め、退室後は次亜塩素酸ナトリウム水溶液 0.1% で清掃する。ベッドやインファントウォーマーだけでなく機器やリモコン、患者の携帯電話や荷物に置いた場所も清掃する
- ⑥ 分娩後の介助スタッフは帽子、フェイスシールドとゴーグル、サージカルマスク、ガウン、手袋を行う。新生児室には入らない。体液が付着した場合はシャワーを浴びる事
- ⑦ 朝霞保健所(夜間休日の場合は埼玉県保健緊急連絡センター)へ連絡し PCR 依頼を行う。
保健所対応に時間を要する場合は当院で検体採取し、武蔵臨床検体の定期提出時間にピックアップしてもらう。自費である事を患者へ説明する
検体採取するスタッフのマスクは(K)N95 マスクを着用する。検体採取綿棒(太い方)で母体と児の鼻前庭粘液を採取する
(検体採取は C.1 を参照)

結果が判明まで母体および児の部屋からの外出を禁止する。また守秘義務を厳守する

別記様式 1 第 1 号

保健所コード 西暦 I.D. 研究受付番号 病原体定コード
〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症(別記様式第 2 号から様式第 6 号に該当する感染症を除く)、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症検査票(病原体)

患者氏名(カタカナ) 性別(男・女) 生年月日・年齢 T・S・H・R 年 月 日(歳)

【主治医等記載欄】

医療機関等名及び主治医等氏名 朝霞保健所 湯尾 明 検体識別記号等

検体送付日 年 月 日 分種様(〇無・〇有・〇検査中)

【定常調査報告分類】
☐ B型肝炎ウイルス感染症 ☐ 梅毒 ☐ 感染症性肺炎 ☐ 手足口病 ☐ ヘルパンギーナ
☐ 定常調査対象外(新型コロナウイルス感染症) ※診断名を記載

発病日 年 月 日

採取年月日 年 月 日

検体採取材料

材料の種類
☐ 鼻拭(口直腸内容物) ☐ 咽ぬぐい液 ☐ 唾液 ☐ 尿 ☐ 吐物
☐ 喉嚨 ☐ 気管吸引液 ☐ うがい液 ☐ 穿刺液 ☐ 腹水 ☐ 胸水 ☐ 胆汁液 ☐ その他
☐ 咽ぬぐい液 ☐ 鼻汁 ☐ 鼻粘膜拭子 ☐ 皮膚病変 ☐ 皮膚炎 ☐ 創傷
☐ 結膜ぬぐい液 ☐ 結膜拭子 ☐ 結膜液 ☐ 血液 ☐ 尿 ☐ 便 ☐ 汗 ☐ 汗腺液 ☐ 汗腺炎 ☐ 汗腺腫瘍
☐ 血液 ☐ 全血 ☐ 血清 ☐ 血漿 ☐ その他()
(抗凝固剤:)

臨床的所見

臨床症状・徴候等
☐ 無症状
☐ 発熱(発熱程度:)
☐ 咳(乾咳・痰性) ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症 ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 下気道炎(口咽頭炎・咽頭炎) ☐ 気管支炎 ☐ 気管支肺炎 ☐ 気管支拡張症 ☐ 気管支狭窄症
☐ 発熱 ☐ 咳 ☐ 呼吸困難 ☐ 呼吸器障害 ☐ 肺炎 ☐ 肺水腫 ☐ 肺動脈炎 ☐ 肺動脈圧亢進症
☐ 上気道炎(口

PCR 陽性の場合、関わったスタッフの PCR 依頼を保健所へ要請する。なお上記 A.の感染予防対応が行えた場合は就業制限を求めない。不安な場合は申し出ること

PCR 陰性を確認したらゴーグル(か眼鏡)、マスク、手袋の介助で可。アルコール手指消毒は適宜行う

⑨ PCR 陰性でも児は新生児室ではクベース収容とする

⑩ 母体 PCR 陰性でも発熱等が続き、COVID-19 がなお疑われる場合は疑似症として搬送を依頼する

E.2.新型コロナウイルス感染症陽性妊産婦の受け入れフロー

PCR 陽性妊婦は保健所を介して県産婦人科医会による調整本部が搬送調整を行う

疑い(疑似症)患者は当院から発生届に意見書として記入し、保健所を介して調整本部が搬送調整を行う

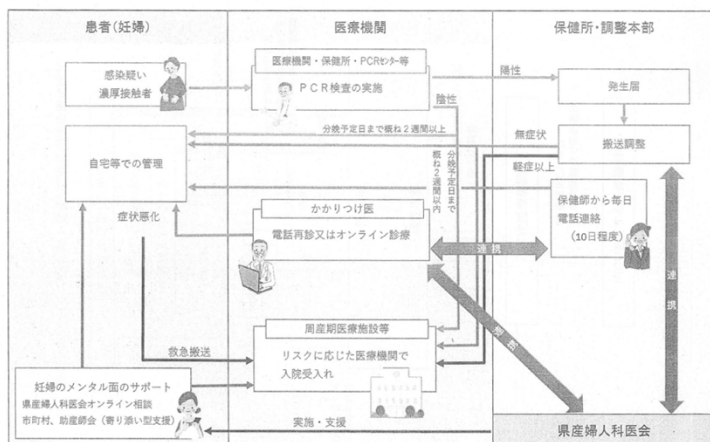
朝霞保健所

048-461-0468

夜間等でつながらない場合は、埼玉県保健緊急連絡センター

048-660-0222

新型コロナウイルス感染症の陽性妊産婦の受入フロー



新型コロナウイルス感染症の陽性・疑い妊産婦の受入体制

※厚生労働省事務連絡(令和2年6月19日)による体制整備

1 フェーズⅠ(小産期)～Ⅱ(拡大兆候期)～Ⅲ(拡大期)

施設区分	感染症指定	医療機関名	陽性の妊産婦			疑いの妊産婦		
			満期妊婦(産婦)	早産リスクの高い妊婦	新生児	満期妊婦(産婦)	早産リスクの高い妊婦	新生児
総合周産期母子医療センター等	総合周産期母子医療センター	埼玉医科大学総合医療センター	ハイリスクのみ可	ハイリスク可	自院出生のみ可	ハイリスクのみ可	ハイリスク可	自院出生のみ可
		さいたま赤十字病院	ハイリスクのみ可	22週以降可	自院出生のみ可	ハイリスクのみ可	22週以降可	自院出生のみ可
	(2)	埼玉県立小児医療センター			ハイリスクのみ可			ハイリスクのみ可
地域周産期母子医療センター		川口市立医療センター	不可	不可	不可	可	35週以降可	自院出生のみ可
	第二種	深谷赤十字病院	可	34週以降可	自院出生のみ可	可	34週以降可	自院出生のみ可
	第一種	埼玉医科大学病院	可	26週以降可	自院出生のみ可	可	26週以降可	自院出生のみ可
	第二種	国立病院機構埼玉中央病院	不可	不可	自院出生可・他院要相談	可	最終33週 双胎35週以降可	自院出生可・他院要相談
		さいたま市立病院	可	23週以降 500g以上可 ※COVID重症不可	自院・他院出生可	可	23週以降 500g以上可 ※COVID重症不可	自院・他院出生可
		済生会川口総合病院	可	23週以降 500g以上可 ※COVID重症不可	自院出生のみ可	可	23週以降 500g以上可 ※COVID重症不可	自院出生のみ可
		自治医科大学附属さいたま医療センター	ハイリスクのみ可	30週以降 1000g以上可	自院・他院出生可	ハイリスクのみ可	30週以降 1000g以上可	自院・他院出生可
	第二種	国立病院機構埼玉病院	可	28週以降 1000g以上可	自院出生のみ可	可	28週以降 1000g以上可	自院出生のみ可
		獨協医科大学埼玉医療センター	可	30週以降可	自院出生のみ可	不可	不可	自院出生のみ可
新生児センター		越谷市立病院	不可	不可	自院出生のみ可	可	不可	自院出生のみ可
	第一種	防衛医科大学校病院	可	不可	自院出生のみ可	不可	不可	不可
	第二種	春日部市立医療センター	可	30週以降 1000g以上可	自院出生のみ可	可	30週以降 1000g以上可	自院出生のみ可
その他の分娩施設	第二種	上尾中央総合病院	不可	不可	自院出生のみ可	不可	不可	自院出生のみ可
	(2)	羽生総合病院	不可	不可	自院出生のみ可	不可	不可	自院出生のみ可

※上記は空床がある場合の対応です

2 フェーズⅣ(ピーク期)

・全ての周産期母子医療センター及び一般産科医療機関で受け入れる。

PCR 陽性もしくは疑似症の場合は以下発生届を記入し保健所へ提出する

新型コロナウイルス感染症 発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第6項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名

印

（署名又は記名押印のこと）

従事する病院・診療所の名称

上記病院・診療所の所在地（※）

電話番号（※）

（※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載）

1 診断（検案）した者（死体）の類型					
・患者（確定例） ・無症状病原体保有者 ・疑似症患者 ・感染症死亡者の死体 ・感染症死亡疑い者の死体					
2 当該者氏名	3 性別 男・女	4 生年月日 年 月 日	5 診断時の年齢（0歳は月齢） 歳（ か月）	6 当該者職業	
7 当該者住所 電話（ ） —					
8 当該者所在地 電話（ ） —					
9 保護者氏名	10 保護者住所 （9、10は患者が未成年の場合のみ記入） 電話（ ） —				

11 症 状	・発熱 ・咳 ・咳以外の急性呼吸器症状 ・重篤な肺炎 ・急性呼吸器症候群 ・その他（ ） ・なし	18 感染原因・感染経路・感染地域 ①感染原因・感染経路（確定・推定） 1 飛沫・飛沫核感染（感染源の種類・状況： ） 2 接触感染（接触した人・物の種類・状況： ） 3 その他（ ） ②感染地域（確定・推定） 1 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2 国外（ 国 詳細地域 ） ※ 複数の国又は地域該当する場合は全て記載すること。 渡航期間（出国日 年 月 日・入国日 年 月 日 国外居住者については、入国日のみで可） 19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項
	12 診断 方法	
13 初診年月日 令和 年 月 日		この届出は診断後直ちに行ってください
14 診断（検案（※））年月日 令和 年 月 日		
15 感染したと推定される年月日 令和 年 月 日		
16 発病年月日（*） 令和 年 月 日		
17 死亡年月日（※） 令和 年 月 日		

（1, 3, 11, 12, 18 欄は該当する番号等を○で囲み、4, 5, 13 から 17 欄は年齢、年月日を記入すること。
（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。（*）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。
11, 12 欄は、該当するものすべてを記載すること。）

搬送時 COVID-19 リスク評価表

(カナ)
患者氏名 _____ (旧姓) _____

生年月日 _____

1. 現在の症状について (該当するものに ☒、いつからどのようにあるか確認)

☐ 37.5℃以上の熱	☐ 咽頭痛	☐ 頭痛
☐ 咳嗽	☐ 呼吸困難感 息のしにくさ	☐ 下痢・嘔吐
☐ 倦怠感	☐ 嗅覚・味覚異常	その他気になる症状

2. 本日から2W以内に以下該当するものがあるか確認する

①	②	③
☐ COVID-19 と診断された または検査中である 月 日	☐ 同居する家族が COVID-19 と診断されたまたは検査中 月 日	☐ 職場・会合など2W以内に 接触した人が COVID-19 と診 断された 月 日
④	⑤	⑥
☐ 海外から帰国した 帰国日 月 日 渡航・滞在地	☐ ④に関連し、空港検疫所にて COVID-19 PCR 検査を 実施した 月 日 (結果)	☐ ②③④に関連して 健康観察期間中である 健康観察期間 月 日～ 月 日
⑦	⑧	⑨
☐ 同居する家族の職場・学校な どから COVID-19 診断され た人がいる 月 日	☐ 接触確認アプリで 濃厚接触と通知が来た 月 日	☐ 家族以外の人2人以上と 飲食・カラオケなど行った 月 日 (人)

ご記入後、搬送出発前までに Fax(049-223-8499)をお願い致します。

病院名 _____ 聞き取り対応者 _____

記入日 : _____